

るといった状況でした。

基地問題に触れず自公が手を組む

相手陣営は、昨年暮れに菅義偉官房長官、今年初めには二階・自民党幹事長が沖縄に来て基地交付金のばらまきなどでテコ入れしています。

前回は自主投票した公明党が自民党と手を組み反対側に付く事態になっています。前回約4000票差で勝利しましたが、公明党は先の衆院選比例で5700票余を取っています。衆院の比例票は自・公で11610票、野党が9981票で自公が優勢な結果でした。

以上のように大変厳しい情勢となっていました。

全国から支援を強め、雰囲気を大

きく変えることが急務です。

米軍基地があるために苦難を強いられている現地の人々を勇気づけ、勝利を確実にすることが求められています。

ぜひあらゆる努力をしましょう。
(山野健治代表理事)



安保破棄沖縄統一連の事務所に新日本婦人の会石川県本部の皆さんからの「寄せ書き」がありました

ニュース・フラッシュ

11月24日～26日 金沢を主会場に「日本のうたごえ祭典in北陸」が開催され、県内外から13200人が参加しました

27日 「沖縄を学ぶ」学習講演会



を近江町交流プラザで開催し、ドキュメンタリー映画「いのちの海」

を上映。元琉球朝日放送報道局長の具志堅勝也さんから、辺野古・高江の闘いと名護市長選の現状報告を受け=写真=学習しました。NPO法人「未来塾」が協力

30日 小松基地爆音訴訟の現地調査が行われました

12月6日 6・9署名行動が金沢・エムザ前で行われました

8日 「平和を守るつどい」で、4人のパネラーが戦時下の日常生活体験を語り、不戦を誓いました

11日 小松基地爆音訴訟公判

15日 沖縄連帯街頭宣伝・署名行動をエムザ前で行いました

20日 「怒りの昼デモ」悪天候のため金沢・四高記念公園で集会だけ実施

2018年

1月1日 石川県原水協恒例の「元旦署名行動」が、初詣客で賑わう尾山神社前で行われました

9日 6・9行動に、9人が参加し、40筆余が集まりました

10日～12日 沖縄・名護市長選支援に2人が参加

15日 沖縄連帯街頭宣伝

「辺野古に新基地はいらない」の署名に応じる市民の大滝和康さん提供

19日 「安倍改憲NO！」300万署名南部アクション

23日 「第20回新春のつどい」が平和と労働会館で行われ、県内の民主諸団体から参加した人たちが今年の決意を語りました。つどいでは、県被爆者友の会の西本多美子会長が、「ヒバクシャ国際署名」に込められた被爆者の熱い願いを話しました

要請ハガキを広めましょう

北朝鮮の核・ミサイル開発に対し、アメリカのトランプ大統領が「すべての選択肢がテーブルの上にある」と威嚇。北朝鮮の金労働党委員長が「米本土全域が核攻撃の射程圏内にあり、核のボタンが私の机の上にある」(新年の辞)と宣言するなど、いつ武力衝突が起こるかもしれない危険な状況が続いている。

県平和委員会は、こうした事態はなんとしても避ける必要があると、安倍首相

内閣総理大臣 安倍晋三様
北朝鮮問題の平和的解決のため、米朝直接対話実現への努力を求めて

北朝鮮による核実験とミサイル発射世界とアフリカ大陸に亘る重大な脅威であり、断じて許されません。

各国によるさまざまな対応力が高まることで、軍事衝突が懸念されます。軍事衝突になれば、日本を含め多くの人々が犠牲になることになります。

当面、北朝鮮の挑発とミサイル発射をやめさせるとともに、軍事的緊張を緩和するためには、日本政府が北朝鮮実現に向けて積極的に力を発揮することを強く求めます。

私の一言

アメリカ合衆国大統領 ドナルド・ジョン・トランプ様
北朝鮮問題の平和的解決のため、軍事的威嚇を止め北朝鮮との直接対話を求めて

北朝鮮による核実験とミサイル発射は世界とアフリカ大陸に亘る重大な脅威であり、断じて許されません。

各国民によるさまざまな対応力が高まることで、軍事衝突が懸念されます。軍事衝突になれば、日本を含め多くの人々が犠牲になることになります。

当面、北朝鮮の挑発とミサイル発射をやめさせるとともに、軍事的緊張を緩和するためには、日本政府が北朝鮮実現に向けて積極的に力を発揮することを強く求めます。

私の一言

安倍首相へ トランプ米大統領へ
とトランプ大統領に宛てる要請ハガキ運動に取り組んでいます。

2枚セット(切手込み)200円です。すでに100枚を普及しました。

必要な方は、柴原事務局長まで申し込んでください。

☎ 090-2837-8105

こうした下で、小松基地のF15戦闘機が米軍のB52戦略爆撃機やB2爆撃機との共同訓練(護衛訓練)も頻繁に行われ、まさに小松基地がアメリカの戦争政策にしっかりと組み入れられています。

シッカリと目を向けて知らせよう

こうした状況にしっかりと目を向け、反対の取り組みを広めるとともに、長年、小松市民が闘っている爆音訴訟を支援し共に闘うことも重要です。

予告

恵庭事件を題材にした映画「憲法を武器として」の上映会

★日時 3月31日(土)

午後、夜の2回

★会場 21世紀美術館地下

アートシアター21

★チケット 1000円